

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月10日(火) 13:00~15:00
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 本館1階 会議室
- 4 参加者  
会長 安田 和夫 岐阜聖徳学園大学教育学部 教授  
副会長 廣瀬 富久夫 本校同窓会 会長  
委員 臼井 悟 鵜自治会連合会 会長  
小山 まい子 本校PTA会 会長  
杉浦 宏 岐阜南署地域課県庁前交番所長  
南谷 東子 人権擁護委員  
森 紀子 本校校友会 会長

学校側	早矢仕 賢治	校長
	有田 美穂	事務部長
	野田 美奈子	副校長
	美濃島 広幸	教頭(定時制課程)
	野田 潤哉	教頭(通信制課程)
	山村 奈美子	教務主任(定時制課程)
	牧田 篤弥	生徒支援部長(定時制課程)
	高橋 睦志	進路支援部長(定時制課程)
	奥村 純平	研修主事(定時制課程)
	野村 直志	教務主任(通信制課程)
	青山 茂樹	生徒指導部長(通信制課程)
	後藤 尋史	進路渉外部長(通信制課程)
	小久江 貴子	研修主事(通信制課程)

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和8年度学校経営(通信制課程 変更点)について

意見1: 通信制の生徒が増加している対応として、5クラス編成に変更するのは、教員が細やかな指導をできるのでよい。

意見2: 前期選抜試験と後期選抜試験の2回、中学生に受検の機会ができるのはよいが、後期選抜までに定員が満たされてしまうことはないか。

→ 過去の実績から、前期選抜試験だけで定員が満たされることはないと思われる。

意見3: 定時制の入試制度の変更はあるか。

→ 変更はない。

#### (2) 自己評価・学校関係者評価(学習指導・進路指導・生徒指導・教員研修)について

○定時制課程

意見4：外国籍や外国にルーツのある生徒へどのような支援を行っているか。

→ 外国人児童生徒適応指導員が本校に勤務している。タガログ語は週4回、中国語は週1回の勤務だが、現状としては、他の言語の支援も必要としており、県教委でも外国語についての指導員は、様々な事情から潤沢には確保できていないと考えられる。

意見5：国籍に関わらず、日本語教育は大事に指導してほしい。外国人排除ではなく、共生の時代である。

意見6：中学校では、部活動は地域クラブへ移行しているが、高校の部活動の現状はどうか。

→ 将来的には、地域クラブへの移行があると考えられるが、現在はその段階ではない。本校の部活動は、週2回、給食後の7・8時間目に活動している。

#### ○通信制課程

意見7：学習指導に関して、AIと向き合うことが避けられない時代であり、指導の在り方を求められている。生徒はAIを活用しているのか。

→ この1年間でレポート作成時に、AIを参考にしていく様子が散見されるようになった。正しい利用の在り方についての指導が現在進行中の課題である。教員がAIについて研修する必要がある。

意見8：通信制には多様な生徒がいるが、一人も取りこぼしがないよう、一人一人向き合って対応してほしい。生徒は褒められたことを覚えている。褒めることで可能性を広げることができる。

### 3 卒業生の進路状況

意見9：進路先が未定の卒業生に対して、今後、どのように支援していくのか。

→ 卒業前の登校日に、就職についての相談機関を説明する。

意見10：進路未決定率が低いことについて、その要因は何か。

→ 高校生の求人を求めている企業が多い。また、給付型の奨学金の基準が下がったことで、進学決定者も増加した。

### 4 本校への提言

意見11：本校の教員は一人一人に向き合って指導している。何か問題行動的な事案があった際は、現在の指導方針のように、懲罰的な指導ではなく、なぜ、そのようなことになったのか原因を考える指導をしてほしい。

意見12：褒めて伸ばすことは、親では難しい。親は子供の足りないことを指摘してしまう。通信制のレポートの添削では、教員が生徒を褒めたり、同調したりするコメントがある。今後もしばしば細かい指導を継続してほしい。

意見13：入学時から生徒が学校に適應できるか、心配だったが、教員の指導や支援で、学校で安心して過ごすことができている。生徒が卒業後、社会に適應できるような指導にも重点を置いてほしい。

意見14：教員と生徒の距離感が適度に近くてよい。生徒についての情報共有がしっかりとされている。

### 6 会議のまとめ

- ・今年度の取組について、活発な意見交換を行った。
- ・通信制の令和8年度の学校経営について、理解を得た。
- ・本校の教育活動に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。委員の様々な意見を来年度の取組に活かしていきたい。